

令和5年度下水道事業会計予算の概要

(単位：千円)

下水道事業会計		令和5年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
収益的収支	収益的収入	4,538,778	4,428,708	110,070
	収益的支出	4,428,107	4,353,950	74,157
資本的収支	資本的収入	2,087,302	1,582,716	504,586
	資本的支出	2,458,478	1,968,606	489,872

※収益的収入・収益的支出の金額は、予算科目のうち「款：下水道事業収益」及び「款：下水道事業費用」と同額

(単位：千円)

予算規模	令和5年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
	6,886,585	6,322,556	564,029

※予算規模は、収益的支出と資本的支出の合計額

業務の予定量

事項	令和5年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
処理区域内人口 (単位：人)	239,774	238,311	1,463
年間総処理水量 (単位：m ³)	38,125,077	37,857,371	267,706
一日平均処理水量 (単位：m ³)	104,167	103,719	448
主要な建設改良事業 (単位：千円)	1,895,603	1,440,436	455,167

1. 関連する施策等の振り返り

施策名(基本計画)等	振り返り(施策評価等から)	取組の方向性(施策評価等から)
<p>施策01 災害に強いまちづくり</p>	<p>◆災害に強い都市基盤の整備</p> <p>○調布市下水道地震対策に関する基本方針(平成30年度策定)で“重要な幹線等”と分類した小口径管路の耐震診断を継続</p> <p>○令和元年台風第19号を踏まえた多摩川流域の浸水被害軽減のため、狛江市と連携し、住民説明会を開催。中長期的対策について説明</p>	<p>○中・大口径管路の地震対策の手法の検討や“重要な幹線等”と定めた管路以外の管路の地震対策の優先順位等の整理を行うため、地震対策に関する実施方針を策定</p> <p>○令和元年台風第19号の再度災害防止に向け、調布市下水道浸水被害軽減総合計画(令和4年度策定)に基づき、狛江市と連携し、大規模ポンプ施設設置等の対策工事に関する基本設計等を実施(令和10年度工事完了想定)</p> <p>○市内全域を対象とした総合的な浸水対策に向け、雨水管理に関する総合計画(令和7年度策定予定)の調査・検討を実施</p>
<p>施策30 快適な生活環境づくり</p>	<p>◆持続的な下水道事業の推進</p> <p>○不具合が生じる前に対応する予防保全型の維持管理の取組として、調布市下水道ビジョン(計画期間:令和3年度~令和12年度)及び調布市下水道ストックマネジメント計画(計画期間:令和3年度~令和7年度)に基づき、管路の劣化状況の点検、下水道管の改築やマンホール蓋の交換工事を実施</p> <p>○管理業務における官民連携による包括的民間委託に関する、調査・検討を開始</p> <p>○老朽化が進行している仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業について、工事を継続</p> <p>○雨水浸透施設の設置促進や雨天時の水質調査による水質管理を継続</p> <p>○令和2年度に移行した公営企業会計による2年分の決算が確定、令和3年度決算の経費回収率は100%を下回っており(89%)、下水道使用料で賄うべき対象経費に対し、下水道使用料収入が不足している状況</p>	<p>○不具合が生じる前に対応する予防保全型の維持管理の取組として、調布市下水道ビジョン(計画期間:令和3年度~令和12年度)及び調布市下水道ストックマネジメント計画(計画期間:令和3年度~令和7年度)に基づき、管路の劣化状況の点検、下水道管の補修・改築やマンホール蓋の交換工事を継続</p> <p>○予防保全型の維持管理への転換を持続的に行うため、管路の維持管理業務の一部への包括的民間委託(複数業務を一括して複数年度契約する公民連携手法)の導入に向けた取組を推進</p> <p>○令和6年度の完成に向け、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化工事を推進</p> <p>○雨水浸透施設の設置促進や雨天時の水質調査による水質管理を継続</p> <p>○持続可能な下水道事業経営を目指し、中長期的な収支見通しを踏まえた事業費の平準化や財源確保に向けた検討など、調布市下水道ビジョンの投資・財政計画の再検証(令和7年度改定予定)に着手</p>

2. 令和5年度の取組方針及び検討課題

- (1) 令和元年台風第19号の再度災害防止に向けた、狛江市との連携による大規模ポンプ設置等工事の基本設計（令和10年度工事完了想定）
- (2) 総合的な浸水対策に向けた雨水管理総合計画の調査・検討（令和7年度計画策定）
- (3) 小口径管路の耐震診断の実施及び地震対策の実施方針の策定
- (4) 公民連携手法（包括的民間委託）活用による下水道管路の予防保全型維持管理の推進
- (5) 下水道ストックマネジメント計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づく管路の老朽化・劣化対策の実施
- (6) 仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化（ポンプによる圧送方式から管路新設による自然流下方式への切替）工事の実施（令和6年度工事完了予定）
- (7) 下水道ビジョンに掲げた投資・財政計画の再検証（令和7年度改定予定）

3. 財源確保・事業費見直しの取組

なし

4. 令和5年度新規・拡充

<浸水対策>

- (1) 令和元年台風第19号の再度災害防止に向けた、狛江市との連携による大規模ポンプ設置等工事の基本設計（令和10年度工事完了想定）
- (2) 総合的な浸水対策に向けた雨水管理総合計画の調査・検討（令和7年度計画策定）

<老朽化・劣化対策>

- (3) 下水道管路の維持管理業務における包括的民間委託の導入に向けた取組の推進
- (4) 調布市下水道ストックマネジメント計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づく管路の補修工事の実施
- (5) 令和4年7月に上石原三丁目で発生した道路陥没に伴い発見された下水道管の損傷個所の補強工事の実施（令和4年度債務負担行為設定事業）
- (6) 東京都による都道路面下空洞調査結果を受けた下水道管路補修工事の実施

<自然流下化>

- (7) 仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化への切替に向けた管路新設工事の継続（令和6年度工事完了予定）

5. 主要事務事業の概要

(単位：千円)
下水道課

No. 1 施策01災害に強いまちづくり No.06下水道施設における浸水・地震対策の推進 <重点1>

下水道施設における浸水対策の推進	拡充	5年度	100,268
令和元年台風第19号の再度災害防止に向けた浸水対策として、狛江市と連携し、大規模ポンプ施設等を設置するための基本設計等を行います。また、市内全域を対象とした総合的な浸水対策に向け、浸水対策のマスタープランとなる雨水管理に関する総合計画（令和7年度策定予定）の調査・検討を進めます。		4年度	48,745
		増減	51,523
		財源内訳	国・都市債 その他 一般財源

<収益的支出>（項1 営業費用 目1 管渠費）			
○雨水管理総合計画策定検討委員会委員謝礼	95		
○雨水管理総合計画策定支援委託料	18,151		
○根川雨水幹線維持管理負担金（対策基本設計他）	79,628		
<資本的支出>（項1 建設改良費 目1 管渠建設改良費）			
○根川雨水幹線建設改良負担金（根川第1 雨水幹線水位計等設置）	2,394		
			参考 市民1人当たり市税等負担額(円)
			420

No. 2 施策01災害に強いまちづくり No.06下水道施設における浸水・地震対策の推進 <重点1>

下水道課

下水道施設の地震対策の推進		5年度	16,203
調布市下水道地震対策に関する基本方針で“重要な幹線等”と分類した小口径管路の耐震診断を継続します。また、中・大口径管路の地震対策の手法の検討や重要な幹線等と定めた管路以外の管路の地震対策の優先順位等の整理を行うため、地震対策に関する実施方針を策定します。		4年度	29,066
		増減	▲ 12,863
		財源内訳	国・都市債 その他 一般財源

<収益的支出>（項1 営業費用 目1 管渠費）			
○地震対策委託料	16,203		
※「その他」は下水道使用料			
			参考 市民1人当たり市税等負担額(円)
			24

下水道施設の老朽化・劣化対策の推進		拡充	5年度	453,858	
不具合が生じる前に対応する予防保全型の維持管理の取組として、調布市下水道ビジョン及び調布市下水道ストックマネジメント計画に基づき、管路の劣化状況の点検、下水道管の補修・改築やマンホール蓋の交換工事を行います。また、予防保全型の維持管理への転換を持続的に行うため、管路の維持管理業務の一部への包括的民間委託（複数業務を一括して複数年度契約する公民連携手法）の導入に向けた取組を推進します。			4年度	411,889	
			増減	41,969	
		財源	国・都 市債	105,000 203,200	
<収益的支出>（項1 営業費用 目1 管渠費）			内	その他	80,521
○管路清掃委託料（計画清掃）	62,284	訳	一般財源	65,137	
○ストックマネジメント点検等委託料	22,517	※「その他」は下水道使用料61,795、府中市負担金18,726			
○管路予防保全型維持管理業務包括的民間委託導入準備支援委託料	7,678				
○管路補修工事費（計画補修）	33,079				
○ストックマネジメント補修工事費	19,800				
○諸経費（報償費）	83				
<資本的支出>（項1 建設改良費 目1 管渠建設改良費）					
○ストックマネジメント工事設計等委託料	15,290				
○ストックマネジメント工事費	293,127				
			参考 市民1人当たり市税等負担額(円)	273	

仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化に向けた取組		拡充	5年度	774,389	
緑ヶ丘地区の汚水を365日24時間、下水道幹線へ圧送する施設である仙川汚水中継ポンプ場に関して、長期的な事業費の縮減や老朽化・災害による機能不全リスクの解消及びCO2削減による脱炭素社会への貢献等の効果が期待できる自然流下化事業（ポンプによる圧送から管路新設による自然流下方式への切替）として、令和6年度の完成に向け、管路新設工事等を引き続き推進します。			4年度	560,688	
			増減	213,701	
		財源	国・都 市債	774,300	
<資本的支出>（項1 建設改良費 目1 管渠建設改良費）			内	その他	89
○自然流下化工事費	770,000	訳	一般財源		
○諸経費（土地賃借料，補償費）	4,389	※「その他」は下水道使用料			
			参考 市民1人当たり市税等負担額(円)	0	

6. 事業別予算化状況（前年度比較）

<収益的収入及び支出>

収益的収入

（単位：千円）

款	項	目	令和5年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	下水道事業収益		4,538,778	4,428,708	110,070	
	1 営業収益		3,159,221	3,061,670	97,551	
	1	下水道使用料	2,013,029	2,022,110	▲ 9,081	前年度実績見込に伴う減
	2	雨水処理負担金	1,120,863	1,033,211	87,652	収益的支出（根川雨水幹線維持管理負担金・雨水管理総合計画策定支援委託料等）に伴う増
	90	その他営業収益	25,329	6,349	18,980	管路補修工事費（上石原3丁目公共下水道19号幹線補強工事費）に対する府中市維持管理負担金等の増
	2 営業外収益		1,379,556	1,367,037	12,519	
	1	受取利息及び配当金	13	7	6	
	2	他会計負担金	44,788	31,156	13,632	固定資産除却費（管路撤去工事費）等に対する一般会計負担金の増
	5	長期前受金戻入	1,230,347	1,275,821	▲ 45,474	減価償却費に伴う減
	7	消費税及び地方消費税還付金	101,133	56,796	44,337	令和5年度の総収支（収益的収支＋資本的収支）に伴う増
	8	雑収益	3,275	3,257	18	
	3 特別利益		1	1	0	
	3	過年度損益修正益	1	1	0	

収益的支出

(単位：千円)

款	項	目	令和5年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	下水道事業費用		4,428,107	4,353,950	74,157	
	1	営業費用	4,312,039	4,246,703	65,336	
		1 管渠費	491,924	399,098	92,826	浸水対策事業費（根川雨水幹線維持管理負担金，雨水管理総合計画策定支援委託料），老朽化・劣化対策事業費（ストックマネジメント補修工事費）等の増
		2 ポンプ場費	54,874	57,390	▲ 2,516	
		3 流域下水道管理運営費	1,475,365	1,465,006	10,359	過年度実績を踏まえた増
		4 総係費	468,339	444,459	23,880	下水道使用料徴収委託料の増等
		5 減価償却費	1,805,669	1,854,364	▲ 48,695	固定資産の耐用年数超過による，減価償却対象資産の減少に伴う減
		6 資産減耗費	15,868	26,386	▲ 10,518	除却対象資産の減少に伴う固定資産除却費の減
	2	営業外費用	111,067	102,246	8,821	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	110,948	102,144	8,804	企業債利息の増
		4 雑支出	119	102	17	
	3	特別損失	1	1	0	
		4 過年度損益修正損	1	1	0	
	4	予備費	5,000	5,000	0	
		1 予備費	5,000	5,000	0	

<資本的収入及び支出>

資本的収入

(単位：千円)

款	項	目	令和5年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	資本的収入		2,087,302	1,582,716	504,586	
	1	企業債	1,929,200	1,460,100	469,100	
		1 企業債	1,929,200	1,460,100	469,100	管渠建設改良費と連動した増
	2	国庫補助金	100,000	50,000	50,000	
		1 国庫補助金	100,000	50,000	50,000	老朽化・劣化対策（ストックマネジメント）工事費の補助対象事業費と連動した増（補助率1/2）
	3	都補助金	5,000	2,500	2,500	
		1 都補助金	5,000	2,500	2,500	老朽化・劣化対策（ストックマネジメント）工事費の補助対象事業費と連動した増（補助率2.5/100）
	6	他会計負担金	53,102	70,116	▲ 17,014	
		1 他会計負担金	53,102	70,116	▲ 17,014	管路建設改良工事費（調布駅前広場管渠新設撤去工事）に対する一般会計負担金の減

資本的支出

(単位：千円)

款	項	目	令和5年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	資本的支出		2,458,478	1,968,606	489,872	
	1	建設改良費	2,111,439	1,639,027	472,412	
		1 管渠建設改良費	1,895,603	1,440,436	455,167	自然流下化工事費、老朽化・劣化対策（ストックマネジメント）工事費、調布都市計画道路3・4・11号線整備事業に係る都道共同工事下水道施設建設負担金等の増
		3 建設改良事務費	40,418	38,131	2,287	
		4 流域下水道費	175,418	160,460	14,958	流域下水道建設負担金の増
	2	固定資産購入費	344	142	202	
		1 固定資産購入費	344	142	202	
	3	企業債償還金	341,695	324,437	17,258	
		1 企業債償還金	341,695	324,437	17,258	
	6	予備費	5,000	5,000	0	
		1 予備費	5,000	5,000	0	

【参考】管渠建設改良費の事業別内訳

事業名	令和5年度予定額	前年度予定額	差引増減額
浸水対策事業	2,394	13,114	▲ 10,720
老朽化・劣化対策事業	308,417	306,306	2,111
自然流下化事業（仙川汚水中継ポンプ場）	774,389	560,688	213,701
都市計画道路整備事業等に伴う管渠建設改良事業	810,403	560,328	250,075
計	1,895,603	1,440,436	455,167

<補てん財源の額>

資本的収入額(20億8,730万2,000円)が資本的支出額(24億5,847万8,000円)に対し不足する額(3億7,117万6,000円)を、以下の補てん財源で補てん

(単位：千円)

補てん財源	補てん額（使用額）	備考
	令和5年度予定額	
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	175,659	消費税及び地方消費税（以下「消費税」という）の納税額を、資本的収支に係る分も含め収益的収支に計上する会計上の仕組みにより、下水道事業会計内部に蓄えられる資金（資本的支出の消費税の額から、資本的収入の消費税の額及び控除対象外の消費税の額を差し引いた額）
過年度分損益勘定留保資金	195,517	過年度における減価償却費等の現金の支出を伴わない費用の収益的支出への計上により、財源として下水道事業会計内部に蓄えられた資金のうち、当年度への繰越資金残高
当年度分損益勘定留保資金	0	当年度における減価償却費等の現金の支出を伴わない費用の収益的支出への計上により、財源として下水道事業会計内部に蓄えられる資金
計	371,176	

【参考】補てん財源残高の状況

(単位：千円)

補てん財源	使用可能額			使用額 (補てん額)	差引残高
	前年度繰越額 (見込)	当年度中に 蓄えられる額	計		
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	0	175,659	175,659	175,659	0
過年度分損益勘定留保資金	654,369	0	654,369	195,517	458,852
当年度分損益勘定留保資金	0	512,711	512,711	0	512,711
計	654,369	688,370	1,342,739	371,176	971,563

※前年度繰越額（見込）は、令和4年度下水道事業会計補正予算（第2号）の差引残高と同額

<債務負担行為>

(単位：千円)

事項	期間	限度額
(収益的支出) 雨水管理総合計画策定支援委託料	自 令和5年度 至 令和7年度	25,946
(資本的支出) 3・4・28号線管渠等建設改良工事費	自 令和5年度 至 令和6年度	140,699

<企業債>

(単位：千円)

起債の目的	限度額
公共下水道事業	1,771,400
流域下水道事業	157,800
計	1,929,200

<議会の議決を経なければ流用することのできない経費>

(単位：千円)

	令和5年度 予定額	前年度 予定額	差引増減額	備考
職員給与費	158,647	146,433	12,214	職員給与費は、調布市職員の給与に関する条例で給与として定めているもの（児童手当を除く一般職人件費）

【参考】 予定価格が1億5000万円以上となることが想定される工事請負費

(単位：千円)

事項	期間	限度額
ストックマネジメント工事費	令和5年度	293,127
3・4・28号線管渠等建設改良工事費	自 令和5年度 至 令和6年度	234,498

【参考】 収益的支出・資本的支出の財源内訳

<収益的支出>

(単位：千円)

款	1 下水道事業費用		財源（収益的収入の予算科目と対応）					下水道使用料
			一般会計が負担		国・都補助金	長期前受金戻入	その他営業収益 ・雑収益(過料を除く) ・特別利益	
項及び目	令和5年度 予定額	雨水処理負担金	他会計負担金					
1 営業費用	4,312,039	1,079,010	28,365	0	1,230,347	28,603	1,945,714	
1 管渠費	491,924	270,991	2,729	0	0	23,059	195,145	
2 ポンプ場費	54,874	0	0	0	0	0	54,874	
3 流域下水道管理運営費	1,475,365	519,651	9,709	0	0	0	946,005	
4 総係費	468,339	43,929	1,357	0	0	5,544	417,509	
5 減価償却費	1,805,669	244,082	1,007	0	1,228,873	0	331,707	
6 資産減耗費	15,868	357	13,563	0	1,474	0	474	
2 営業外費用	111,067	40,113	16,423	0	0	0	54,531	
1 支払利息及び企業債取扱諸費	110,948	40,113	16,423	0	0	0	54,412	
4 雑支出	119	0	0	0	0	0	119	
3 特別損失	1	0	0	0	0	1	0	
4 過年度損益修正損	1	0	0	0	0	1	0	
4 予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260	
1 予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260	
計	4,428,107	1,120,863	44,788	0	1,230,347	28,604	2,003,505	

<資本的支出>

(単位：千円)

款	1 資本的支出		財源（資本的収入の予算科目と対応）				資本的収支 不足額
			企業債	国・都補助金	一般会計が負担	分担金・負担金	
項及び目	令和5年度 予定額						他会計負担金
1	建設改良費	2,111,439	1,929,200	105,000	396	0	76,843
	1 管渠建設改良費	1,895,603	1,771,400	105,000	0	0	19,203
	3 建設改良事務費	40,418	0	0	396	0	40,022
	4 流域下水道費	175,418	157,800	0	0	0	17,618
2	固定資産購入費	344	0	0	0	0	344
	1 固定資産購入	344	0	0		0	344
3	企業債償還金	341,695	0	0	52,706	0	288,989
	1 企業債償還金	341,695	0	0	52,706	0	288,989
6	予備費	5,000	0	0	0	0	5,000
	1 予備費	5,000	0	0	0	0	5,000
	計	2,458,478	1,929,200	105,000	53,102	0	371,176

【参考】企業債残高の状況

(単位：千円)

	令和4年度末 企業債残高見込	(資本的収入) 企業債	(資本的支出) 企業債償還金	令和5年度末 企業債残高見込
公共下水道事業	5,627,805	1,771,400	200,432	7,198,773
流域下水道事業	2,411,810	157,800	141,263	2,428,347
合計	8,039,615	1,929,200	341,695	9,627,120

7. 財務諸表の概要

＜予定貸借対照表の概要＞

(消費税込, 単位: 千円)

事 項	令和5年度 (令和6年3月31日)		令和4年度 (令和5年3月31日)		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
資産	31,732,681	100.0%	30,687,108	100.0%	1,045,573	3.4%
固定資産	28,996,623	91.4%	28,809,447	93.9%	187,176	0.6%
流動資産	2,736,058	8.6%	1,877,661	6.1%	858,397	45.7%
うち現金預金	2,317,738	7.3%	1,586,387	5.2%	731,351	46.1%
負債	28,664,573	90.3%	27,554,084	89.8%	1,110,489	4.0%
固定負債	9,242,623	29.1%	7,697,920	25.1%	1,544,703	20.1%
うち企業債	9,242,623	29.1%	7,697,920	25.1%	1,544,703	20.1%
流動負債	2,215,851	7.0%	1,636,846	5.3%	579,005	35.4%
うち企業債	384,497	1.2%	341,695	1.1%	42,802	12.5%
繰延収益	17,206,099	54.2%	18,219,318	59.4%	△ 1,013,219	△ 5.6%
資本	3,068,108	9.7%	3,133,024	10.2%	△ 64,916	△ 2.1%
資本金	3,253,315	10.3%	3,253,315	10.6%	0	0.0%
剰余金	△ 185,207	△ 0.6%	△ 120,291	△ 0.4%	△ 64,916	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金	△ 185,207	△ 0.6%	△ 120,291	△ 0.4%	△ 64,916	-
うち前年度未 処分利益剰余 金	△ 185,207	△ 0.6%	△ 120,291	△ 0.4%	△ 64,916	-

※当年度未処分利益剰余金は、マイナス表記の場合、当年度未処理欠損金を表す

資産については、資産合計額317億3268万1千円のうち、固定資産が289億9662万3千円で前年度比1億8717万6千円の増、流動資産が27億3605万8千円で前年度比

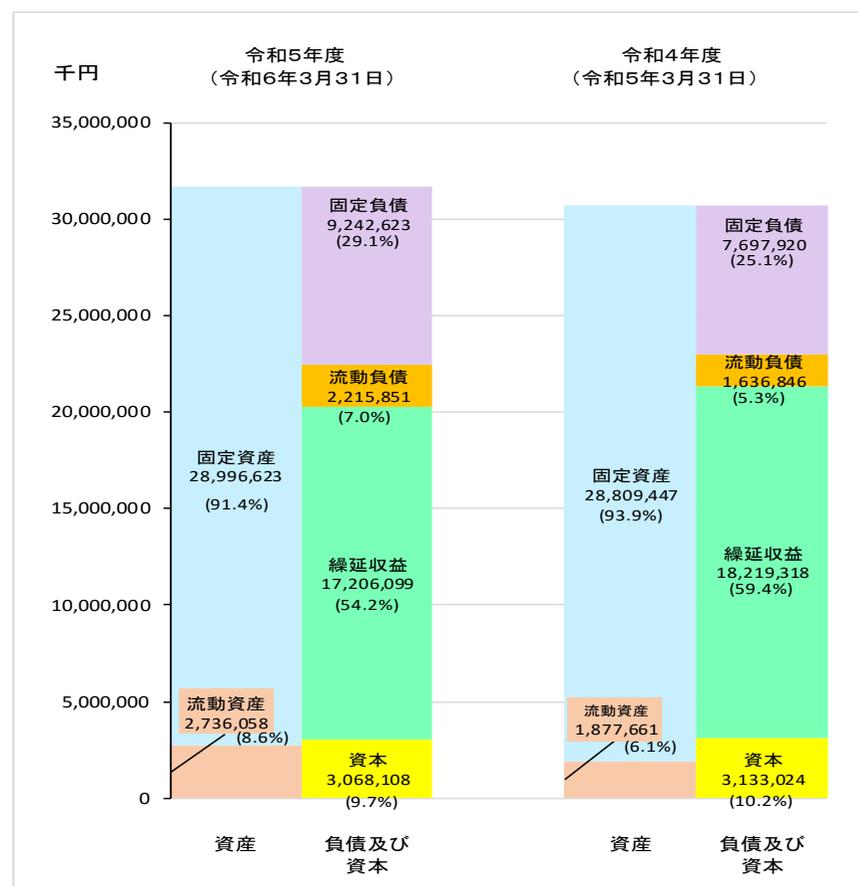
8億5839万7千円の増となっています。なお、流動資産のうち、現金預金は23億1773万8千円で前年度比7億3135万1千円の増となっています。

負債については、負債合計額286億6457万3千円のうち、固定負債が92億4262万3千円で前年度比15億4470万3千円の増、流動負債が22億1585万1千円で前年度比5億7900万5千円の増、繰延収益が172億609万9千円で前年度比10億1321万9千円の減となっています。

なお、負債のうち、企業債については、浸水対策事業、老朽化・劣化対策事業、自然流下化事業、都市計画道路整備事業等に伴う管渠建設改良事業、流域下水道事業のため借入を予定しており、この結果、固定負債・流動負債の企業債残高は合計で

96億2712万円となり、前年度比15億8750万5千円の増となっています。

資本については、資本合計額は30億6810万8千円で前年度比6491万6千円余の減となっています。



< 予定キャッシュ・フロー計算書の概要 >

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増減
業務活動によるCF	483,378	500,879	△ 17,501
投資活動によるCF	△ 1,339,532	△ 655,571	△ 683,961
財務活動によるCF	1,587,505	913,363	674,142
資金増加額	731,351	758,671	△ 27,320
資金期首残高	1,586,387	827,716	758,671
資金期末残高	2,317,738	1,586,387	731,351

※CFは、キャッシュ・フローの略

< 業務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

投資活動・財務活動以外の活動による収入・支出

主な収入：下水道使用料，雨水処理負担金等による収入

主な支出：管渠補修工事費，下水道使用料徴収委託料等の管理運営費による支出

※予算書は、当年度純損益からの増減による間接法で表示するため、上記科目を直接表示していない

< 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

補助金，他会計負担金による収入

固定資産の取得（建設改良費，固定資産購入費等）による支出

< 財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

企業債（建設改良費等の財源に充当したもの）による収入

企業債（建設改良費等の財源に充当したもの）の償還による支出

業務活動による資金は、減価償却費の計上等に伴い、財源を下水道事業会計内部に蓄えることにより、4億8337万8千円増加しますが、下水道使用料収入の減等により、前年度比1750万1千円の減となっています。

投資活動による資金は、自然流下化事業の工事費や都道共同工下水施設建設負担金の計上等に伴い、建設改良費の支出が増加することにより、前年度比6億8396万1千円の減となっています。

財務活動による資金は、起債対象事業費の増等により、企業債借入額（収入）が企業債償還額（支出）を上回り、前年度比6億7414万2千円の増となっています。

この結果、資金期末残高は23億1773万8千円となり、前年度比7億3135万1千円の増となっています。

< キャッシュ・フロー計算書の読み方の例 >

	業務活動CF	投資活動CF	財務活動CF	概要
①	プラス	マイナス	マイナス	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債（企業債）残高を減少させつつ建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好的な経営状況にあると想定される
②	プラス	マイナス	プラス	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債（企業債）に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される
③	マイナス	マイナス	プラス	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債（企業債）に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される

出典：地方公営企業法の適用に関するマニュアル（総務省）